

# 数専会だより

## 【総会報告】

日時 平成十八年六月十日(土)  
於 七二年館一階

### 次第

#### 一部 総会

- 一、活動報告
- 二、決算報告及び会計監査報告
- 三、予算案
- 四、会則改正について
- 五、夏季研修会について
- 六、追分寮について
- 七、研究部講座報告
- 八、常任幹事交代について
- 九、その他

#### 二部 ソプラノミニコンサート

塩谷靖子氏(S46)の公演

#### 一部 総会

- 一、活動報告
- 各部報告 詳細は7ページ参照
- 二、決算報告及び会計監査報告 詳細は6、7ページ参照
- 三、予算案 詳細は6ページ参照
- 四、会則改正について

時代に即した会則が平成十七年度の総会で承認されたが、更に今年度 第二章、第4条が改正され承認を得た。改正された会則は左記の青字の通り(詳細はホームページ参照 また改正された会則をご希望の方は《\*》までご連絡下さい)。

第4条 本会の会員は次のとおりとする。

- 1. 東京女子大学卒業者のうち **大学院進学研究科・数学専攻部・専門数学科・数理科・数理学科を卒業した者。**

数理学科を卒業した者。

発行人  
東京女子大学  
同窓会数専会  
会長 飯山良子  
〒167-0041  
東京都杉並区善福寺  
2-23-11  
Tel. 03-3395-4448  
Fax. 03-3395-0084  
http://www.geocities.jp/twcomath/index.html

2. 東京女子大学に一年以上在学し、**大学院進学研究科・数学専攻部・専門数学科・数理科・数理学科を卒業した同窓会会員。**

付録 4. **本会創立十八年六月十日より実施する。**

《\*》 広報部 渡辺信子(0424815338)

五、夏季研修会について  
今年度は東京女子大学安井てつ記念ホールにて開催される(2ページ参照)。

六、追分寮について

東京女子大学追分寮は、二〇〇六年四月に取り壊された。数専会有志を中心に再建のための署名を集めている。集まった署名は高月会長を通じ東京女子大学理事長に渡される。飛び入りで高月会長がこられ、追分寮の歴史等を話され、数専会の署名に賛同の意を表された。継続的に署名を集めることとする(8ページ参照)。

七、研究部講座報告

各講座の代表者より講座の内容、日時、会費等が紹介された。なお現在の研究部講座については7ページ参照。

八、常任幹事交代について

次の 印の方々が総会に先立つクラス幹事会で推薦され、総会で選出、承認された。会長、副会長、常任幹事は次の通り。

- |     |            |
|-----|------------|
| 会長  | 飯山 良子(S41) |
| 副会長 | 木谷 玲子(S37) |
|     | 多羅尾千恵(S43) |
| 庶務  | 山田 洋子(S41) |
|     | 遠藤 陽子(S45) |

- |       |            |
|-------|------------|
| 厚生    | 平澤眞理子(S52) |
| 研究    | 高山千津子(S41) |
|       | 庵原ちひろ(S50) |
| 広報    | 岩本 福子(S45) |
|       | 渡辺 信子(S50) |
| 会計    | 松本 友子(S48) |
|       | 荒木 祐子(S52) |
| 書記    | 岩崎えり子(S53) |
| HPP担当 | 荒木 純子(S50) |
| 大卒担当  | 杉山 真澄(S44) |
| 会費設置  | 廣田 貞子(S24) |
|       | 土屋 昌子(S32) |

平成十七年度で任期満了の方々は次の通り。長い間、数専会のために御尽力下さり有難うございました。

- |     |            |
|-----|------------|
| 副会長 | 吉益美恵子(S42) |
| 厚生  | 原田 秀子(S29) |
|     | 菅沼 綾子(S34) |

九、その他

\*HP・パソコン報告  
ホームページに講演会の情報、勉強会の内容等を掲載し数専会活動を広げていく。その際個人情報に関することは細心の注意を払って運営していく。

数専会のホームページは題字下のアドレスから、東京女子大学同窓会 自主活動グループ 数専会で検索できる。

自主ゼミ、勉強会、楽しい集い、地方の情報等お寄せ下さい。住所変更等も可能  
\*バザー委員会報告

平成十六年度よりバザー委員会が発足し、発足当時より委員として御尽力された山本静枝氏(S23)、矢矧かつ子氏(S26)が退任され、木谷玲子氏(S37)、荒木祐子氏(S52)がバザー委員を引き継いだ。大変なお仕事を有難うございました。

#### 二部 塩谷靖子ソプラノミニコンサート

四十一才で声楽を始められ、深い慈愛に満ちた数々の歌を披露された。なお、ピアノの伴奏は「子女多依さん。詳細は2ページを参照。

## MESSAGE

会長 飯山 良子(S41)

今年トリノで荒川静香さんが金メダルのアメリカで王日本野球が世界一に、ドイツのサッカーワールドカップに日本も出場と喜ばしいニュースがある反面、常識では計り知れない悲しい事件が頻発し心痛むことも多くありました。

総会では第二部として塩谷靖子さんのミニコンサートをし、心打たれる歌の数々に感動いたしました。来年も内容豊かな総会を目指しております。皆様のご参加をお待ちしております。

今回の「数専会だより」をご覧になつていかがですか? 文字ばかりの便りから、写真を取り入れ、より読みやすく親しみやすいものを目指し広報の方が苦勞して作成して下さいました。

昨年夏季研修会で宿泊した大学の追分寮は現在取壊され更地になっております。数専会といたしましては、再建を願つて機会あるごとに署名を集め同窓会より大学に提出していただいております。是非皆様にもご協力いただきたいと思います。

数専会のいろいろな行事は常任幹事の献身的な奉仕で円滑に行なわれておりますが、会員皆様のご協力なくしては成り立たないことでございます。これからますますお願い申し上げます。



平成18年度常任幹事

### 「塩谷靖子 ソプラノ・ミニコンサート」



「アメijingング・グレイス」  
アメリカ民謡  
「ときには母のない子のように」

「星に願いを」  
黒人霊歌  
「くちなし」  
ハーライン作曲  
高野喜久雄作詞

「曼珠沙華」  
高田三郎作曲  
北原白秋作詞

「落葉松」  
山田耕作作曲  
野上彰作詞

「つくひす」  
小林秀雄作曲  
佐藤春夫作詞

「帰れソレントへ」  
早坂文雄作曲  
クルティス作曲

「アヴェ・マリア」  
カッチーニ作曲  
レオンカヴァルロ作曲

「朝の歌」  
「涙の流れるままに」  
ヘンデル作曲  
「カタリ・カタリ」  
カルディルロ作曲

ピアノ伴奏 塩谷多衣



塩谷靖子氏コンサート

### 塩谷靖子氏プロフィール

東京教育大附属盲学校を経て、東京女子大文学部数理学科卒。日本初の全盲コンピュータプログラマーとなり、点字変換ソフトなどを開発。四十二歳で音楽を始め、東京文化会館での二度のリサイタルの他、多数の演奏会にソロ出演。また企業・学校・自治体の依頼による演奏会にも多数出演。レパートリーはクラシックから愛唱歌と幅広い。第六、八回「奏楽堂日本歌曲コンクール」連続入選。第七回「太陽カンツォーネコンクール」クラシック部門第一位。第四回「全日本ソリストコンテスト」入賞。CD「わかれ道」日本の四季に寄せるノスタルジア」をリリース。ホームページ <http://www.nobuko-soprano.jp/>

### 【夏季研修会】

日時 平成十七年七月二十二日(土)  
於 東京女子大学安井つづ記念ホール  
講演要旨 4、5ページ及び講演についての感想を下記に掲載致します。

### プログラム

十時半～十二時半  
「音と三角関数」

東京女子大学文学部  
数理学科教授  
大阿久 俊則氏

十二時半～十四時 昼食・懇親会  
十四時半～十六時半  
「ユビキタス社会がやってくる」

ICTタグで拓ける  
近未来型ライフスタイル  
上智大学経済学部  
経営学科教授  
荒木 勉氏



大阿久先生の講演

### 夏季研修会に参加して

#### 「音、CTスキャン、フリー工変換」

中江 淳子(S41)

数専会夏季研修会に初めて参加した。卒業後の四十年間に次々新校舎が建ち、安井つづ記念ホールも初めてであった。  
「音と三角関数」と題する大阿久俊則教授の講演は、若い頃の記憶装置に刻まれた三角関数から記憶が薄れたフリー工級数へと進み、音や地震の振動が数式となって表現された。やはり私も数理学科出身である。

一つ一つ導入される数式を追いながら理論を辿ると、納得して理解出来た(?)喜びがある(少し振りに脳が光ったようだ)。平均律音階の振動数が等比数列をなし、各音がフリー工関数としてグラフ化され、プロジェクトに映された。更にピアノの鍵盤は振動数の対数メモリになっているなど、親しみ易い講義であった。現在の高校数学では対数が少ないが、高二で対数学習し、対数尺の智慧に驚いたことも懐かしい。

また、フリー工係数のスペクトルで音の周波数分布が分かり、人が音を認識する際には分布のパターンを感じているのではということである。スペクトルを連続と仮定し積分したもので、即ちフリー工変換で音は表現されることや、X線の角度と密度の関数をフリー工変換して、生データから断面図が作成されるCTスキャンの仕組みを、図式を以ってご説明下さった。

フリー工変換の作用素にノルムを導入、そのバナッハ空間が群をなすように定義、群上の関数を・・・定かではないが、こんなゼミが思い出される。高級な料理を頂く



荒木先生の講演

時、全く味も覚えず唯々マナーに四苦八苦した子供の様だった。それでも美味しかったと感じようとしていた。食材調達から調理、味わい、後片付けまでして料理も自分のものになる。この講義のようにフリー工を知り、具体的な導入や利用事例等を学ぶと、数学をより面白く深く理解出来たのでは。後悔先に立たずである。  
見識を広めるのに今回の研修会はとても良い機会でもつと盛会でありましたが、働き盛りの方がもつと参加されると良いですね。四十年後の再会という楽しみで参加した私ですが、講演のあらすじを述べて、若い数専会の方々のご参加をお誘い致します。終りに、この研修会を計画し、先生方への依頼やお昼の手配等、ご尽力いただいた数専会役員の皆様にご心からお礼申し上げます。

### 「ユビキタス・ネットワーク社会がやってくる」

#### ICTタグで拓ける

#### 近未来型ライフスタイルの講演をお聞きして

勝部 宏美(S52)

近年よく耳にするユビキタス社会、ICTタグについての講演会開催のご案内に、技術進歩凄まじい社会に遅れる事なかれと受講させていただきました。会場は女子大キヤンパス内の安井つづ記念ホールでした。講演当日懐かしいキヤンパス内に足を踏み入れた時には、遠い学生時代の講義に向かう気分が蘇ってきました。

講演は、経営学の見地からICTタグの活用についてお話していただきました。



「誰でも、いつでも、どこでも」に答えられるのがユビキタス社会です。「待てない、我慢できない、辛抱できない」という人間の欲望がユビキタス社会を進めてきているという事でした。たった半世紀程の私の人生でも、昔はどうしていたらだろう？と懐かしく思う事がたくさんあります。現在では当たり前と感じる日々の何気ない生活は、人間の我侷が原動力となり開発実用化された優れた技術に支えられている、と再認識しました。

講演は、そんなユビキタス社会を今後更に実現すると考えられているICTタグについての話へと進んでいきます。ICTタグはICチップとアンテナが内蔵され、リーダー/ライターによりICTタグとの間で電波でデータのやりとりを行うものだそうです。バーコードとの相違点は「電波によるデータのやりとり」で、身近な例として「JRのSUICAに使われているという事でした。バーコードでは得られない多くの可能性を秘めたICTタグの利用展開を、海外事例を中心に紹介しながら説明していただきます」。

講演が進む中、「これは便利！」「これは素晴らしい！」と感心する一方、「えっ、これは大丈夫？」「これは怖い！」と、感心するのは相反する感想を持ちました。ICTタグによりリアルタイムでの情報提供、情報収集が可能となり経営戦略上、日常生活上において利便性が向上する点は素晴らしいと思います。まさにユビキタスです。しかし、瞬時に情報収集できることにより、私達の知らないうちに情報管理されてしまふ点に恐さを感じました。また、インターネット社会でも問題になっているかと思いますが、人間同士のコミュニケーションの欠落が危惧されると思いました。買い物に出かけた時に店員さんとのちょっとした会話もなく欲しく欲しくないと、待てない、我慢できない、辛抱できない。私達の要求が満たされ過ぎると、また不便さをも懐かしく思う、人間とはなんと我侷なも

のかと思う次第です。

インターネットを始め、現在日常生活で私達が当たり前に使っている技術は軍事目的の為に開発されたものが少なくありません。今回紹介されたオムニ・トラックというシステムもこの例にもれず、当初は砂漠で軍事トラックの位置を知らせる為に開発されたという事でした。つまりは、日常と軍事は紙一重、便利と危険は紙一重と言う事でしょうか？ 技術は使う人間次第という事でしょうか？ 今回の講義をお聞きして、便利な社会の為に技術開発と共に、人間の倫理観も豊かに育ってほしいと願いました。

今回の講演の感想をつれづれと述べさせて頂きました。懐かしいキャンペーンで充実した一日を過ごさせていただいた事を、関係者の皆様に感謝いたします。

**講師紹介**

大阿久俊則氏  
東京女子大学文理学部数理学科教授、専門は代数解析学と記号計算。研究会、ソフト開発、著作、論文発表等幅広く活躍

荒木勉氏  
上智大学経済学部経営学科教授、専門は、経営学・経営科学・ロジスティクス。大学での講義以外に、RFID普及のための研究・講演を行っている。

**【会員のトピックス】**

**点字図書館って？**

荒井 智子 (S58)

私は今、社会福祉法人格をもつ点字図書館に勤めています。数理学科卒業で点字図書館勤務？と疑問に思われる方も多いことでしょう。実は私自身も卒業した時には考えてもいませんでした。大多数の人と同じく、卒業して十年ほどはシステムエンジニアをしていましたが、点字に興味をもち習

い始めたのがきっかけで、現在の図書館に勤めて九年目を迎えています。

ご存知でしょうか？日本には約三十万人くらいの視覚障害の方がいらつしやいます。また、視覚障害者は一方で情報障害者ともいわれています。人間は、生きていくためにさまざまな情報を取得していますが、そのうちの約八パーセントが視覚により取得しているといわれているからです。確かに気軽に本屋で本を手にとることもできませんし、街の案内板や看板を目安に歩くことも困難です。また、テレビでは音の無い場面も沢山あります。今こそパソコンの普及により、情報が手軽に入る時代になりましたが、画面に表示されている文字や絵や図を音で表現してもらつシステムがないとその恩恵も受けることができません。

そこで、視覚障害の方に日常の暮らしや学習、教養、娯楽などの情報を、点字に訳したり(点訳)、音声に訳したり(音訳)して提供する点字図書館は、大きな役割を担うことになりました。

日本には約九十の点字図書館があり、点字図書やテープ・CDにした音訳図書の貸し出しをしています。このCD図書というのは、専用の再生機器は必要になりますが、テープ図書ではできない章や節、またはページによる検索ができるようパソコンで編集したものです。一枚にテープ約三十本分の情報が入ることもあって、今後主流になるといわれています。もちろん図書館の利用料は無料です。

また、点字図書館が一般の図書館と違つところは大きく二点あります。まず一点目は、一般の図書館では貸し出す本を購入していますが、点字図書館では、自分たちで本づくりをするということです。もちろん点字図書などを販売している点字出版所もありませんが数が少なく、私たちが本屋で目にする書籍数からくらべればほとんど無いに等しいくらいです。ですから、点訳・音訳・CD編集ボランティアの方々のご協力を得て本づくりに励んでいます。ボランティア

イヤなしに点字図書館は成り立たないといつても過言ではありません。また、最近の本づくりはパソコンを使つての作業が中心となつています。したがつて本来の点字の知識などのほかにパソコン技術も必要です。職員はもとよりボランティアにもそれが求められる時代となり、少々頭の痛い問題となつています。

二点目は、利用者への貸し出し方法がたいいてい郵送で行われるという事です。移動に困難のある視覚障害の方が直接図書館に行かなくても、電話や手紙で本を希望されれば郵送します。ありがたいことに、今のところ郵政公社の約款により、郵便料金は無料です。しかし、郵政が民営化されて今後どうなるのか、もし有料になったらしたら点字図書館の死活問題にもなりかねませんので、今後の動きに目が離せないのが正直なところです。

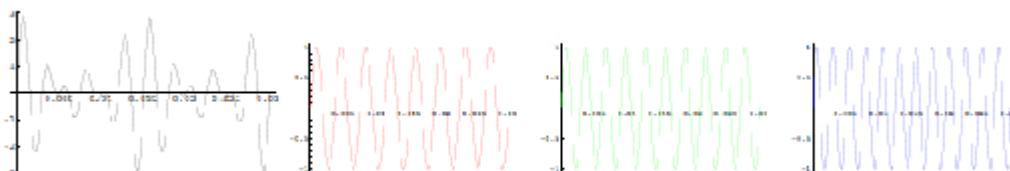
それ以外には、電気製品の説明書やCDのジャケットなどをプライベートに点訳・音訳したり、図書館に向かいながら対面朗読することもあります。そして最近では、量の少ない点字・音訳図書をみんなが共有しようということで、全国の点字図書館それぞれの蔵書をインターネット上で公開し、希望のあった図書が自館になかった場合は、簡単に他館から借りて貸し出すことができます。作成した点字や音声のデータを同じくインターネット上に登録して、利用者自らがパソコンさえ持つていれば家にながら入手できるようにしました。こうして、IT(情報技術)のおかげで視覚障害の方の読書環境もほんの少しずつ良くなつてきてはいますが、それでも一般書籍の刊行数と点字・音訳図書の製作数を比較したとき、年々格差が広がつていくのが現状です。視覚障害の方が利用できる図書の絶対数は足りないのです。そんな状況の中でも、利用者から希望された図書が「ありません」とはいわれない点字図書館を目指し、私たちは今日も少ない予算、少ない人数で悪戦苦闘しています。

## 音と三角関数

(大阿久俊則氏ご寄稿の講演要旨)

音や地震などの振動現象を三角関数で表そう、というのがフーリエ解析です。まずは、じかに感じられる地震の振動を考えてみましょう。同じ大きさの揺れでも振動数(周期)によって建物への影響が異なります。例えば高層の建物ほどゆっくり揺れます。地震の揺れ自体は色々な周期の振動を含んでいますが、建物によって、そのうちのどのような周期の揺れに反応しやすいかが異なるのです。このように振動を色々な周期の「単振動」に分けるのがフーリエ解析です。最近、偽装問題で話題になった建物の耐震強度の計算にも、フーリエ解析が使われています。

さて、本題の音の話に移りましょう。私達の耳に聞こえる音の周波数は1秒間に20回(20Hz(ヘルツ)といいます)から2万回くらいなので、じかに振動現象として感じることはできません。では、私達の聴覚が、音階や和音や、さらには母音の違いなどを認識する際には、音の振動のどのような特性が関わっているのでしょうか？この問題は三角関数を考えることで解決することができます。単振動は、 $t$ を(秒単位の)時間として $\cos t$ や $\sin t$ で表される最も基本的な振動です。これは単位円周上を等速運動する点を横から見たものと同じです。は円運動の速さに相当し、角速度または角周波数と呼ばれます。このとき周期は $T=2\pi$  (秒)、周波数は $f=1/T$  (Hz)です。音の周波数は音の高さに対応します。音楽ではラの音の周波数を440Hzと定めています。純正調では、音階の周波数の比が分数になるように定めます。たとえば1オクターブ離れた2つの音の周波数の比は1:2、完全5度の関係にある2つの音(たとえばドとソ)の周波数の比は正確に2:3になります(平均律では1:1.4983...)。さらに幾つかの音を足し合わせて和音が作られます。たとえばドミソの和音の波形は下の左のようになります。これを聞き分けられる人は、この波形を右の3つの単振動に分解していることとなります。



私達が日本語の「あいうえお」の違いを認識するのも、これと同じ原理です。角周波数が母音の波形は一般に

$$f(t) = \frac{a_0}{2} + \sum_{n=1}^{\infty} (a_n \cos n\omega t + b_n \sin n\omega t)$$

という形で表されます。これをフーリエ級数といいます。実際には  $n$  の大きいところは私達の耳には聞こえないので、たとえば440 Hz であれば  $n = 45$  くらいまでの和を取れば十分です。 $a_n \cos n\omega t + b_n \sin n\omega t$  は振幅  $\sqrt{a_n^2 + b_n^2}$  の単振動なので、数列  $\sqrt{a_n^2 + b_n^2}$  ( $n=1, 2, 3, \dots$ ) を  $f(t)$  のスペクトルといいます。母音の識別はスペクトルを考えることで説明できます。どうやら人間の聴覚はフーリエ解析を知っているようです。子音の場合はフーリエ級数では不十分で、フーリエ変換というものを考える必要があります。フーリエ変換の比較的新しい応用としては、病院での検査に使われるCTスキャン(Computed Tomography, コンピュータ断層撮影)が有名です。これは色々な方向からとったX線写真からフーリエ変換(正確にはフーリエ変換から導かれるラドン変換)の計算によって断層像を作り出すものです。

(5)

## ユビキタス・ネットワーク社会がやってくる - I C タグで拓ける近未来型ライフスタイル - ( 荒木勉氏ご寄稿の講演要旨 )

インターネットを活用すれば、地球上のどこにいても情報を発信や受信することができるようになることを、「地球上の全ての人々は神のご加護を得る」というラテン語の Ubiquitous を使ってユビキタス・コンピューティングとかユビキタス・ネットワーク社会という。待てない、我慢できない、辛抱できない気質の日本人にとって、宅配便やコンビニ、携帯電話などが生活に欠かせなくなっている。インターネットによって情報はいつでも、どこでも、誰でもすぐに手に入れることが当たり前になったため、顧客がほしいと思った製品をすぐに提供することが出来なければ、企業は勝ち残れないようになっている。そこでは、I C タグが重要な役割を果たすことになる。I C タグは、RFID、電子タグ、無線タグなどとも呼ばれ、バーコードや二次元シンボル（QRコード）と共に我々の生活の中に取り入れられ、安全・安心できる生活の確保や便利で快適な生活を実現してくれる。

ニューヨークのプラダでは、試着室のハンガー架けに I C タグが添付された製品を吊すと自動的に製品情報がディスプレイに表示され、自分の姿が 4 秒遅れに映し出されるマジックミラーと共に顧客の購買意欲を向上させるために導入されている。ケンブリッジのテスコでは、ジレットの替え刃の箱に I C タグが貼付されており、盗難防止に活用されている。ロンドン郊外のテスコでは、I C タグを貼付した DVD がスマートシェルフ（賢い棚）に陳列され、欠品（品切れ）防止に活用されている。ロンドンのマークス & スペンサーでは、すべてのアパレルの商品タグに I C タグが組み込まれ、欠品防止や不良在庫（売れ残り）削減に活用されている。日本の三越、高島屋、阪急では、婦人靴に I C タグを添付し、色やサイズによる在庫を店頭端末で確認できるシステムを導入している。

I C タグを活用すれば、アンテナを向けるだけで品物の所在を確認できるため、棚卸し作業が簡単になり、毎日のように棚卸しが実行できる。これまで、バーコードが印刷された値札一枚一枚にハンディターミナルを近づけなくてはならず、作業が繁雑で棚卸しは頻繁には実施できなかった。I C タグは、在庫管理の精度を向上させ、顧客満足や顧客サービス向上に貢献する。

デュッセルドルフのメトロのフューチャーストアでは、買い物用カートにパソコンを装着すれば、売り場案内や製品情報が表示され、セルフレジも簡単に利用できる。出口には I C タグに書き込まれている情報を消去する装置が設置されており、プライバシー保護の対策も取られている。将来の小売り店舗の姿を想像することができる。日本版フューチャーストアについて、昨年クイーンズ伊勢丹、丸井、三越、ファミリーマート、イオンなどで実証実験が実施され、流通・物流分野だけではなく、マーケティングにも活用できることがわかり、実用化の速度が速まった。

BSE や鳥インフルエンザなどの問題が発生して食の安全・安心について関心が高まり、トレーサビリティ（遡及性、追求性）に注目が集まっているが、温度センサーが組み込まれた I C タグを材料や製品に貼付しておけば、流通の履歴がデータベース化されることに加えて、製品の温度変化の履歴が確認できるようになる。チルドや冷凍製品、医薬品など温度管理を必要とする製品のトレーサビリティに役立つ。温度だけでなく、湿度や衝撃センサーを組み込んだ I C タグの開発が進められている。

現在、日米欧で同時に取り組んでいる I C タグは、バーコードや二次元シンボルと共に流通・物流に利活用されるようになる。安全・安心が確保された上で、ほしいと思った製品をすぐに手に入れられる時代が近い将来やってくる。さまざまな分野で新しいビジネスモデルが誕生し、日米欧を中心とした地球規模で産業構造が改革されることになる。それと共に、人々のライフスタイルも徐々に未来型に変化していく。



バーコードを使用した棚卸し作業（左）に比べて、I C タグを活用すれば（右）簡単になり、精度も上がる

【会計・会計監査から】

平成十七年度の決算を6ページの通り報告いたします。

- 会長 飯山 良子
- 会計 松本 友子
- 荒木 祐子
- 精査の結果、相違ないことを認めます。
- 平成十八年五月二十五日
- 会計監査 廣田 貞子
- 土屋 昌子

【会計から】

平成十八年度の予算が総会にて6ページの通り承認されました。今年度は、基金を利用して秋に数専会主催の講演会を開催します。その他、基金の有効な利用法がありましたらご提案下さい。常任幹事会にて検討のうえ、総会で使途を決定します。

【厚生部から】

平成十七年度の活動状況を報告いたします。専任教員 36件(成立なし)、時間講師 24件(成立なし)、家庭教師 1件(成立なし)。求職希望者は、ご連絡下さい。数専会ホームページの厚生部求人情報を、ご利用下さい。随時更新しております。

【庶務部から】

維持運営費の振込みには必ず卒業年を書いてください(同姓同名があります)。和暦・西暦どちらでも結構です。転送された手紙を受け取られたら新住所を(ご連絡下さい)転送期間は一年です。

・改姓・名簿変更などは数専会HP・会長FAX・葉書などで必ずお知らせ下さい。  
・クラス会開催等で名簿が必要な時は、ご連絡下さい。

【研究部から】

今年の夏季研修会は、東京女子大学安井てつ記念ホールの一階教室で開催いたしました。お昼は、学生食堂の一階でお食事をいただきながらの懇親会となりました。講師の大阿久先生、荒木先生も参加してくださいました。参加人数の多い学年はミニクラス会となり、とても賑やかで楽しい会となりました。女子大キャンパスでの夏季研修会開催は初めての試みだったのですが、懐かしい場所ということもあり七十名余りの参加者には大変好評でした。教室には最新の設備も整っており、今後も機会があれば女子大での開催も考えていきたいと思っております。お友達同士誘い合ってミニクラス会のもりで参加してくださいることを期待しております。また、こんな話が聞きたいとか、講師として紹介したい方とかございましたら、いつでも気軽に研究部の方にご連絡ください。お待ちしております。現在、社会の第一線で活躍しておられる会員の話も是非聞かせていただきたいと思っております。

また、勉強会がより活発に活動できるよう一講座、年間二万円の補助をし、毎年春には「研究部のお知らせ」で会員の皆様に新年度の紹介をしております。現在、自主ゼミークラスを含め十クラスが活動しています。ホームページでもご覧いただけます。四月から新設されたパズル研究会も、十名ほどの参加で順調にスタートしています。新たに自主ゼミを開いたり、東京近辺以外での自主ゼミの活動など、情報をお寄せください。

勉強会

- 高村多賀子先生ゼミ
- 杉山真澄先生ゼミ
- 高校数学勉強会
- ◎清水不一先生ゼミ
- ◎吉田萌子先生ゼミ
- パソコン教室
- ◎パソコン教室
- ◎プラムパソコン教室
- ◎チェリーパソコン教室
- ◎シニアパソコン教室
- ◎新設講座パズル研究会
- ◎けやきパソコン教室
- 自主ゼミ 石田静子先生ゼミ
- お問い合わせ

高山 千津子(S41)

- 飯山 良子先生
- 荒木 純子先生
- 荒木 純子先生
- 矢知かつ子先生
- 荒木 純子先生
- 塚本 典子先生
- (休講中)
- 高山 千津子(S41)
- 庵原 ちひろ(S50)

【秋の講演会の御案内】

日時 十一月二十五日(土) 午後一時半より  
場所 五二号館(旧幼児グループ)二階  
同窓会館入り口よりお入りください。  
会費 1000円  
「動物の年齢を調べる」  
講師 石井信夫氏 数理学科教授  
お申込・お問い合わせ FAX xxxxx  
木谷 玲子(8時~20時)  
(準備の都合上、必ずご連絡下さい)

小川岩雄先生を偲んで

矢知 かつ子(S26) 小川岩雄先生が平成十八年六月十三日にお亡くなりになりました。先生は立教大学名誉教授でいらつしやいました。女子大とは関係はなかったのですが、数専会とは長いお付き合いで、色々お世話になりました。小川先生は湯川秀樹氏の甥御さんで、東大卒業後、江田島の海軍兵学校で教官をなさり、広島県の原爆も目近に体験なさいました。敗戦後、東大の大学院の時に、昭和二十一年ですが、数学の学生に物理学を教えに來られました。昭和二十二年、二十三年卒の方達が、敗戦直後で、教科書も無い時なので、先生から、本をお借りして、ガリを切ったりしたそうです。先生の奥様は英文科の卒業生で、亡くなられた石田展子さんと茜寮のとき御一緒で、その縁で数専会の物理勉強会が一九九四年四月から始まりました。勉強会も楽しかったのですが、先生に連れて頂いて、中々私達では行かない所への見学など、素晴らしい時を過ごしました。九十四年八月六日に江ノ島で、数専会の夏季研修会にお出で頂き、講演をして頂きました。九十四年十一月二十八日、三浦半島の立教大学の研究用原子炉の見学、九十五年、物理ゼミの修学旅行で広島へ、宮島や原爆資料館など、九十六年三月六日船橋の放射線医療総合研究所の見学をいたしました。筑波の研究施設にもまいりました。また先生は第一回から、バグウォッシュ会議に参加され、九十五年には会議としてノーベル賞を受賞されました。



数専会へのご寄付

有志の方々より数専会に計四万五千円の御寄付をいただきました。心より御礼申し上げます。

さる六月十三日 小川岩雄先生が逝去されました。一九九四年四月、一九九六年七月まで数専会の物理勉強会で大変お世話になりました。数専会よりお花をお供えいたしました。ご冥福をお祈りいたします。



### 【七三紹介】 Excelでつくるパズル研究会

越山 祐子(S50)

昨年の秋、数専会の講演会に参加したとき、同期の荒木純子さんに卒業後三十年ぶりに会いました。その帰り道、学生時代のように、西荻窪駅前の喫茶店でコーヒーをすすりながら語り合った中に、パズル研究会の立ち上げを検討しているというお話がありました。近所にお住まいの十期ほど先輩の英文科出身の方が、片道一時間ほどかけて学生時代の友人との原書購読の会に月に一回出かけている、と話してくださったことを思い出し、パズル研究会が開かれるならば、メンバーになろうと決心しました。そして、今年の春、受講者十人で研究会がスタートしました。

パズル研究会は、「できあがったパズルを解いて楽しむこと」は勿論ですが、「Excelに搭載された機能を使ってパズルをつくること」がメインです。一学期は、4色問題(\*1)、数字あてクイズ(\*2)を作りました。どちらのパズルもなかなかの難易度になっていきますが、初めは骨子の部分から作っていきまいた。Excelで使える関数は数多くあるようで、ああしたい、こうしたいとき、どのような関数を使えるのか、見当がつかない私たちですが、荒木さんが準備された資料のおかげで、うーむなるほど、目からウロコ、と進んでいきます。大まかな骨子が仕上がったところで、更なるバージョンアップへ工夫を重ねていきます。操作を自動的に実行できるマクロ機能の利用も学び始めました。まるで、進化するパズルです。パーソナルコンピュータが普及する前の、学生時代の大型コンピュータのプログラミングの大変さ比べると、こんなに手軽にExcelでプログラムが組めるのは驚きです。

どのメンバーもExcelの操作はできませんが、どの程度利用できるかには個人差があるようです。隣や後ろの方がどうやっているか、ディスプレイを覗いたり、尋ね

たりもありですし、荒木さんは、受講者ひとりひとりのペースを尊重して講座を進めてくださるので、私のようなボヤボヤしている者でも、楽しく参加できています。パズル研究会は、毎月第二金曜 十時~十二時、七二年館にて開かれています。会費：一ヶ月一五〇〇円 テキスト：Z式マスター エクセル マクロ&VBA編 Windows版 発行元 株式会社アスキー

(\*1) 数専会ホームページ  
<http://www.geocities.jp/twounatv/top100.htm> 研究部 プラムパソコン講座  
Excelのマクロをつかったパズル 4色問題

(\*2) 与えられた1から9までの異なる4つの数字の数字と位置を当てるパズル。  
・ 本来、問題の「25574」は白字設定にしてあるので見えません。数も位置も正しい個数を 欄に、数は正しいが位置が違つ個数を 欄に、数も位置も正しくないものの個数を×欄に出力します。×の数をヒントにして与えられた数を当てます。正解になると **おめでとう** と褒めてくれます。

|   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 6 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 7 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 8 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 9 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

### 【支部だより】

沖繩より

伊志嶺 雅子(S41)

青い空と青い海花は一年中咲きみだれ沖繩は自然が美しい島です。とりわけ七色に変化する海の色は例えようもありません。うっとりさせられます。また、さんしんと琉舞に代表される独特の芸能には心癒されます。

県民は朝ドラの「ちゅらさん」にもあるように、総じて明るくてやさしいのです。しかし、ここ沖繩は去る戦争で筆舌に尽くしきれないほどの犠牲を強いられたつえ今も全国の米軍基地の七十五%を抱える基地の島です。平和の大切さを痛感させられる地でもあります。

様々な顔をもつ島、魅力溢れる島、ここに私たち同窓生二十余名が暮らしています。出身も年齢も生活層も異なるけれど全員沖縄大好き人間です。同窓会沖繩支部は小さいながら定例総会、クリスマス会を軸に、随時、会報の発行、歓送迎会、学習会などを開きながら親交を深めています。それぞれがいろいろな分野で活躍している力もちなので得ることも大きいものがあります。不思議なもので女子大で学んだというだけで、はじめて参加しただけでずいっと会い続けていたような関係になります。数専会の会員はまだ三人だけです。私は数学とは全く縁のない生活をしてきています。たまに届く数専会だよりでかろうじて数学の接点をもっているというところ、それだけに



沖繩の海

「たより」が届くのが楽しみです。数専会のみなさま、一度は沖繩に是非お運びください。きつと心に残る旅をしていただけるかと思えます。また、お気に召したら沖繩県民になってください。最近はりタイヤされた方々の移住が多くなっています。いずれも大歓迎です。

### 【追分寮再建を願って】

東京女子大学追分寮にいらしたことがありませんか？  
軽井沢の喧騒を離れ、車で西に十五分ぐらい走ったところに追分寮があります。昔ながらの佇まいを残し、自然がいっぱいの中に東京女子大学追分寮はありました。

ところが、追分寮は建築されて七十年の歳月が経ち、雨漏りなどの老朽化が著しく使用不能となりました。さらにアスベスト問題もあり、二〇〇六年四月末までに取壊されました。

数専会では、夏季研修会を追分寮で開催していたこともあり、特別の思い入れがあります。このまま追分寮が無くなってしまうには余りにも残念です。大学では取壊した後、どのようにするかは二〇〇八年に諸事情を考慮して改めて検討することに決定いたしました。

数専会では再建を願う署名を集め、同窓会会長より大学に提出していただいております。まだまだこの署名を多くの方にお願ひしたいのです。ホームページよりダウンロードできますので協力よろしくお願ひいたします。

梅雨明けが遅れ、夏らしい日も短かったような気が致します。秋風の爽やかな頃となりました。本年も多くの方のご寄稿を頂きまして心より御礼申し上げます。

各地で活躍されておられる方々のお声をお届けし、数専会会員の繋がりを大事にできればと思います。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

【編集後記】

梅雨明けが遅れ、夏らしい日も短かったような気が致します。秋風の爽やかな頃となりました。本年も多くの方のご寄稿を頂きまして心より御礼申し上げます。